

宇部市産業振興計画の概要 について

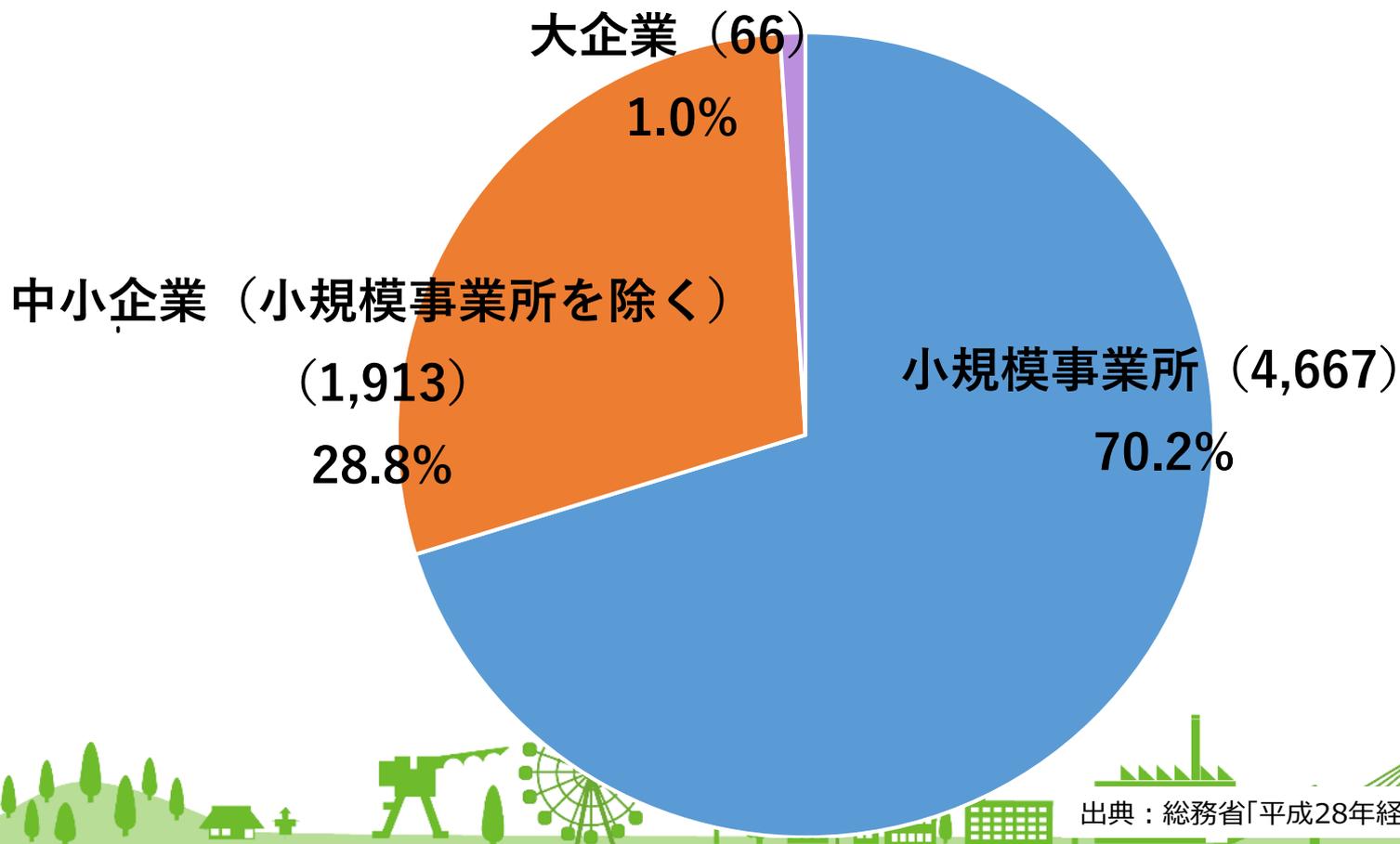
令和4年8月
商工振興課



宇部市産業振興計画の策定

宇部市の産業現状-市内産業全体の傾向-

・全業種の規模別割合で、市内中小企業の割合は99.0%

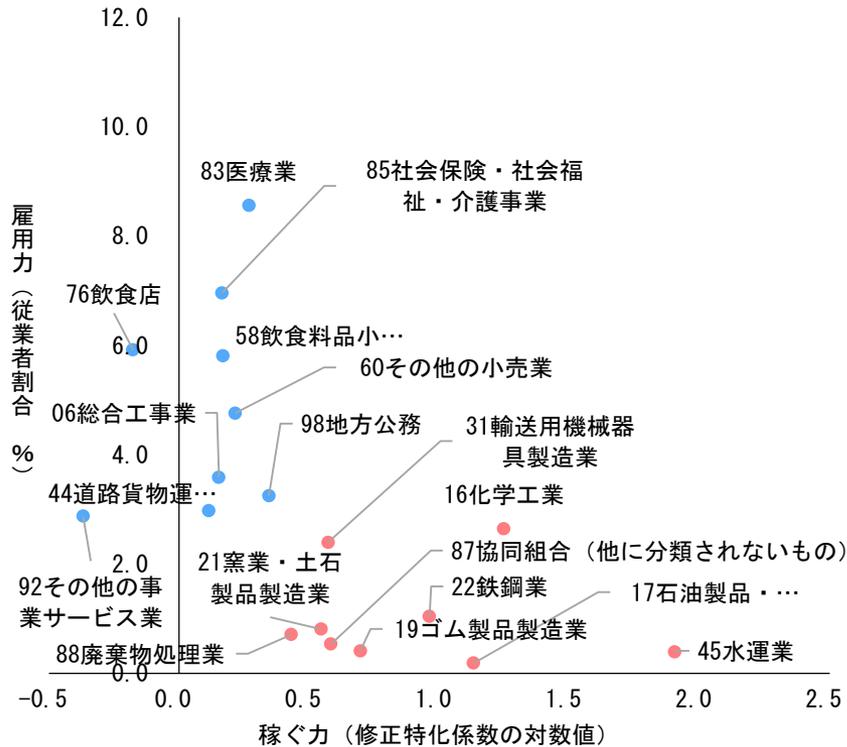


宇部市産業振興計画の策定

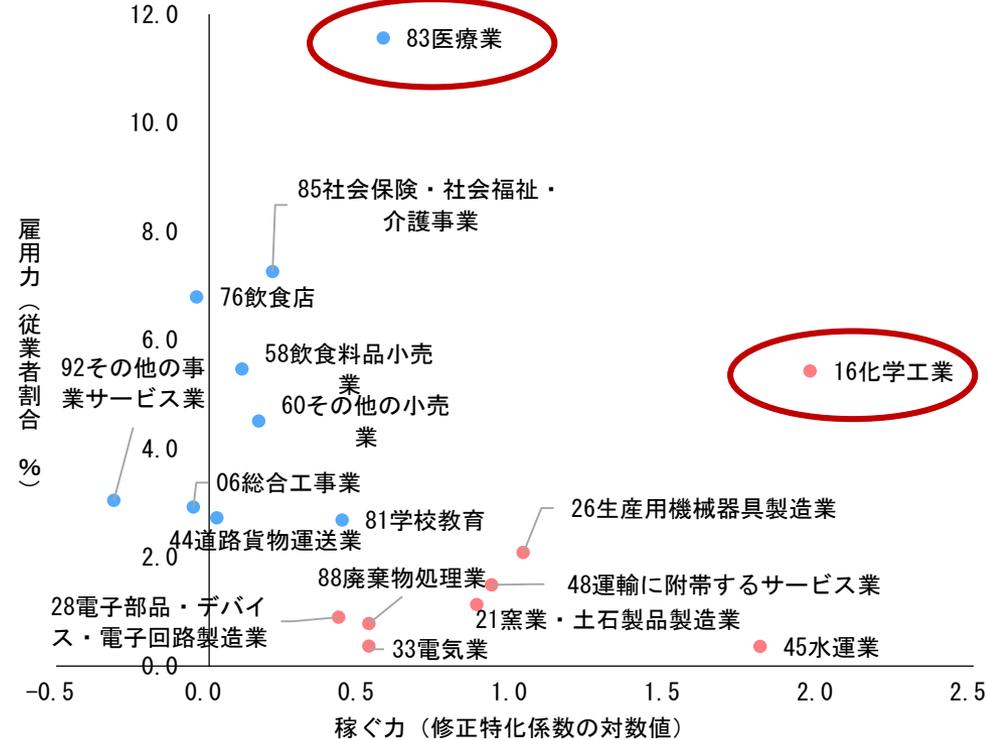
宇部市の産業現状-雇用力と稼ぐ力-

- ・県と比較し、宇部市は**稼ぐ力(地域外からお金を稼ぐ力)**では「**化学工業**」が突出
- ・**雇用力(市内での雇用吸収力)**では「**医療業**」が突出

【山口県産業の雇用力と稼ぐ力】



【宇部市産業の雇用力と稼ぐ力】



出典：総務省「平成28年経済センサス-活動調査」

宇部市産業振興計画の策定

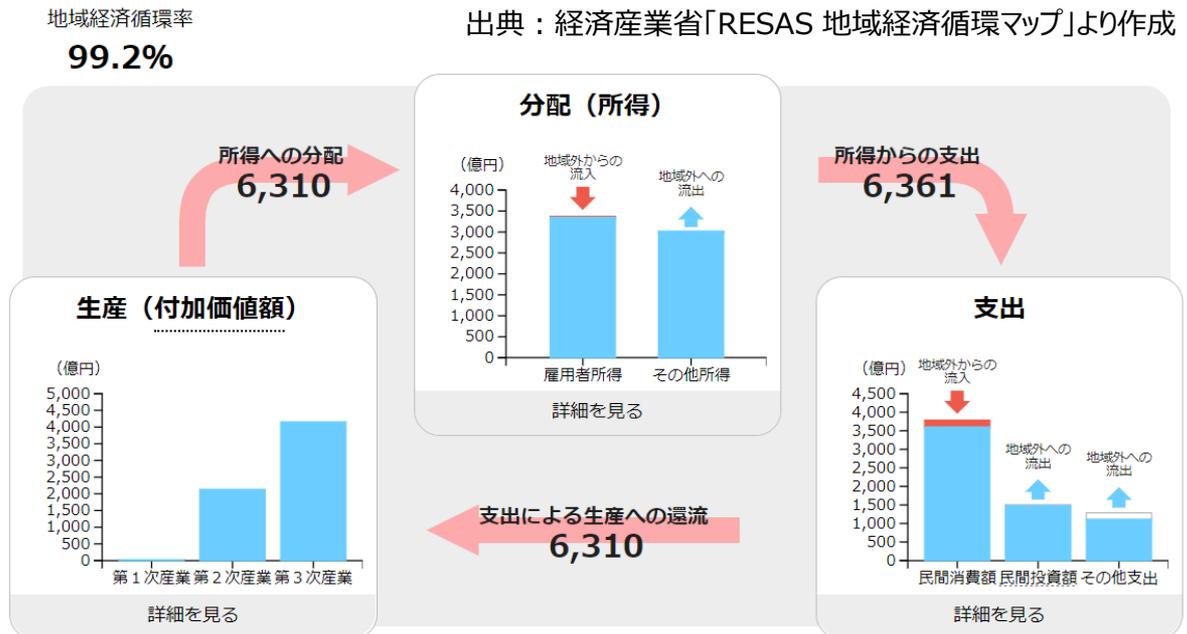
宇部市の産業現状-市内経済循環-

- ・市の生産、分配、支出について、地域経済の自立度を示す**地域経済循環率は、99.2%**であるが、県は101.4%となっているため、域外からの所得流入強化が必要

【地域経済循環率】

	地域経済循環率
山口県	101.4%
周南市	121.7%
防府市	113.1%
下松市	112.9%
宇部市	99.2%
山口市	94.8%
下関市	87.4%

【地域経済循環マップ：宇部市】



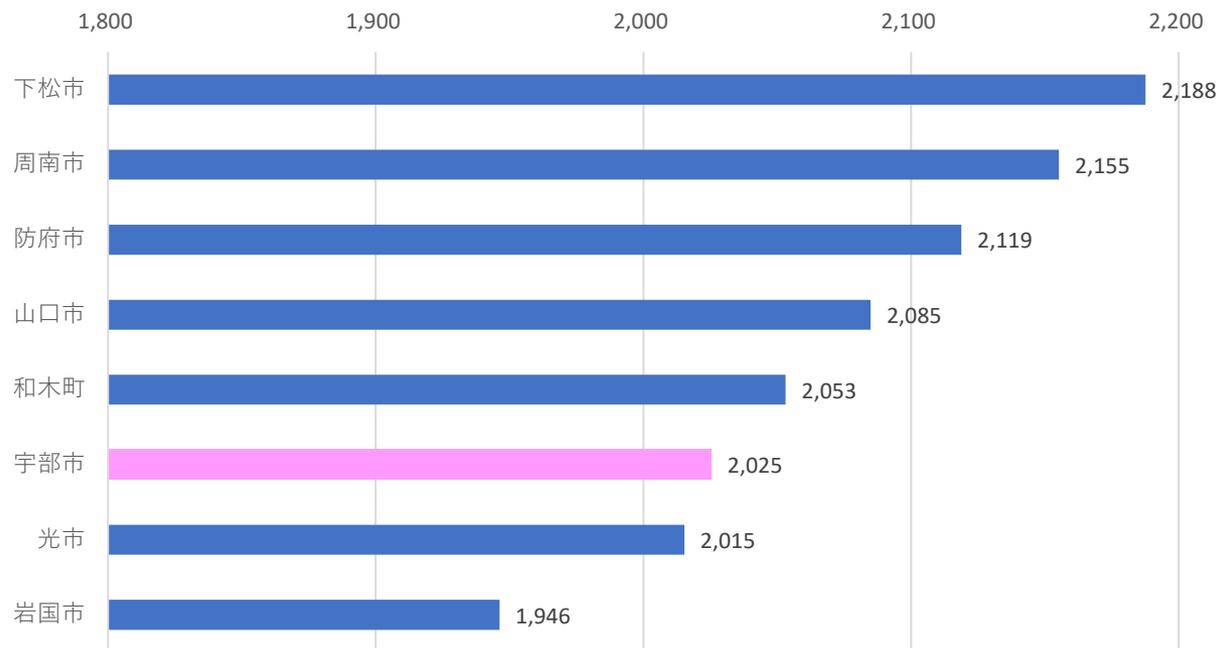
宇部市産業振興計画の策定

宇部市の産業現状-市民生活との関係-

- ・市町民雇用者報酬を人口で除した、**市民1人当たりの雇用者報酬**について
本市は202.5万円で山口県内6位（県平均196.5万円）
- ・**全国平均222万円**

市民1人当たりの雇用者報酬

単位：千円



出典：山口県 市町民経済計算（2018年）、山口県人口移動統計調査結果報告書（2018）より作成

【これまでの産業施策の課題】

- ・計画達成後のビジョンが共有されていない
- ・多角的な視点での現状分析が不十分

宇部市の産業の**現状、強み、**
社会状況などを踏まえたビジョンが必要



令和4年3月に
宇部市**産業振興計画**を策定

次世代へつながる

活力に満ちた強い産業のまちへ向けて

産業振興計画の計画期間



現状と課題を整理

現状

課題

産業を
とりまく
環境

- ・人口減少、少子高齢化、カーボンニュートラル
- ・ライフスタイルの変化による健康課題への意識

社会的課題等への
取組や対応

立地

- ・市内交通環境は充実、産業団地等創業しやすい環境
- ・学生は就職時に市外へ転出意向
- ・立地のデメリットは「人材が集まらない」

立地の特性を
生かした機会の創出

産業特性

- ・事業所数が減少
- ・「従業員の確保・育成」、「売上高の減少」が課題

ビジネス環境の
魅力を促進

ビジネス
環境

- ・有効求人倍率は、業種による需給アンバランスあり。
- ・企業の取引先は市内がほとんど。
- ・資金調達先は地方銀行が最多。商工会議所の加入率も高い。

立地の利点を
活かした機会の創出

市民生活

- ・生産年齢人口が減少。
- ・一人あたりの雇用者所得は県内10位
- ・預貯金額は周辺市と比べて多い

市民生活を支える
産業力の強化



◎ 次世代につながる 活力に満ちた強い産業のまち



目標：市内総生産
第2次産業+第3次産業

635,695百万円

⇒ **651,630百万円**

目標：市民1人あたりの雇用者報酬

2,025千円 ⇒ **2,220千円**

ステイクホルダーとの**共創**により実現

